

平成 24 年 11 月 9 日（金）11：00～12：00 に、県教委学校教育課・人事課から 6 名の出席をいただき、以下のように要望書への回答をいただきました。

<要望書について>

この会（要望書の提出）で、現場での声を聞かせてもらったり、貴重な資料をいただいたりして、有効に活用させてもらっている。

サテライトについても、この会で話を聞いて実現していったと聞いている。この会を楽しみにしていたし、この資料を活かしていきたいと思っている。

現在財政協議の前段階で、また国の方の予算編成も終わっていないので十分な回答にはならないかもしれないが、できる範囲で回答する。

I-1 通級指導教室の新設増設について

本年度 6 学級増設を行った。（現在ある学級にプラスしたものも含めて）

開設の諸条件の一つとして、「来年度以降もある程度該当の児童がある」ことが必要なので、どうしても大きな市町に偏ってしまう。この地区バランスは課題であると考えている。学習環境や人的な面についても精査しなくてはならない。

未開設の市町については、こちらでも認識しているので、中学校の開設も含めて、今後も努力していきたい。開設については国の加配によるものなので、国の方にも強く要望していきたい。

I-2 人事面での配慮について

経験や専門性に負うところが大きく、保護者の期待も考えるとベテランが中心になるが、若い人材の必要性もわかる。

特別支援学校との人事交流を計画的意図的に進めていく中で、特別支援教育・通級指導教室のリーダーシップをとれる人材を配置していきたい。

I-3 サテライトについて

この会から事業化した制度である。現在 16% ということで、だんだん拡大しているし、好評であるということも聞いている。慎重にならざるを得ない面もある。経費の部分もあるが、担当者の負担も大きくなりがち。実施している学校を訪問して、担当者の実際の声を聞いて、成果や課題を検証しつつ慎重に拡大していきたい。負担軽減がされる良さもあるが、保護者の同席にも価値がある。

1-4 予算面での配慮について

教育事務所を通して、通級指導教室がある学校については、多めに予算配当するようお願いしている。終日勤務がはっきりしているものについては、通勤手当で対応してもよいという話もしている。ただ、時間割については 5 月に確定するので、柔軟に考えていけばいい。

2 言語通級の増設について

H19あたりで言語通級の開設はストップして、LD等の通級指導教室の開設にシフトしている。文科省としては言語通級がある程度浸透したということで、LD等の通級指導教室のH20より言語通級の開設が続いてきている。今年度言語指導通級の開設が可能かどうか、文科省に確認中である。ニーズの高さは認識している。政令市、教育事務所からの開設の要望も上がっている。検討していきたい。

3 聴覚特別支援学級・聴覚障害通級指導教室充実発展について

教育と福祉が連携していくことが、特別な支援を求めているお子さんや保護者の支援になる。

FM補聴器システムについては県の保健福祉部が所管している。早期からの補聴の効果を体験することで保護者への啓発をはかっている。さらにニーズがあるということを保健福祉部局にも伝えていきたい。難聴児の困り感は本当に把握しにくい。聴覚特別支援学校で教育相談を行っている。また、聴覚特別支援学校の教員が市町の1・6検診等に出向いて保健師さんと一緒に相談にあたっている。そこでかなり掘り起こしもできていると聞いている。軽度の難聴のお子さんが早い段階で聴覚特別支援学校の教育相談に来ている数が増えている。今後も特別支援学校のセンター的機能を活かしていくことが、掘り起こしにつながると考えている。また市町の教育委員会も、各市町にいる聞こえに課題を抱えているお子さんの把握をしているので、保健師さんや保健部局との連携、そこに教育相談に来てもらう形でバックアップできればと思う。

県の回答を受けて、宇佐美会長より、さらに以下のような要望をしました。

・予算について

通級指導教室のある学校について予算が多目に配当されていることが、目に見える配布の仕方です。地区の教育委員会におろしてほしい。

・通級指導教室の担当者について

通常学級でその子をのばすための通級指導である。通常学級とのかかわり、連携が大きい。入級から退級まで学校へ足を運び、その子の状態を把握して、障害はあるが二次障害をやわらげて学校へ返していく。教育環境を改善していくのも通級。現場とのキャッチボールは必須である。

サテライトは本当に力のある教員が必要。力のある教員が機能していけばインクルーシブ教育につながる可能性も大きい。専門性の高い教員が行くことで、その学校の特別支援の体制が変わってくるようなそういった教員を育てたい。

若い人を育成する方法を県の方で具体的に考えてほしい。特別支援学校の人事交流で来たからといって役に立つものではない。通級はそういうところではない。特別支援の免許や経験があるからできるというものではない。

一人でやっている人は不安を抱えながらやっている。ベテランと若手でできれば一番いい。